



老齢年金と老齢福祉年金の併給について

Q 私の母は亡父の恩給扶助料と老齢福祉年金をもらっています。私は六十歳になりましたので厚生年金から老齢年金をもらえるようになりましたが、七十歳になれば老齢福祉年金ももらえますか。

A 老齢福祉年金というのは、国民年金制度ができたときに国民年金に加入しても老齢年金をもらうだけの期間がない人（明治四十四年四月一日以前生れ）が、七十歳になったときにもらえる年金です。厚生年金から老齢年金をもらえるような人は、もちろん七十歳になっても、老齢福祉年金はもらえません。

年金は、イキのながーい制度です

お年寄りが増えて、若い人達が国民年金制度を支えきれなくなるのではないかという

不安の声を耳にします。

年金制度は、長い将来にわたって継続していかなければならない制度です。今後教育や医療、雇用などを合わせて総合的に考えることが必要です。

国では、過去の実績をもとに、二十年後、三十年後の社会経済の変化などを考慮しながら、高齢化社会に対応できる年金制度を維持していきま

世代と世代のバランスのとれた年金制度にすることが大切です。



日本の公的年金

年金時代」ということがいわれています。日本の人口が急速に高齢化している中で、今後、社会がスムーズに運営されていくためには、年金のはたす役割が非常に大きくなってきたからです。

ところで、日常何気なく使

っている「年金」ということばには、いろいろな意味がふくまれていることに、お気づきでしょうか。厚生年金といえど年金制度の一つを意味して

ますし、老齢年金というのはこの厚生年金制度（あるいは国民年金制度）からもらえ

る年金のことです。公的年金といっても、そういう制度があるのではなく、政府がその運営に責任をもっている年金

制度の総称のことです。日本は、国民がこの公的年金に加入し、働ける年齢のときは保険料を納めることが義務づけられるとともに、年をとったときは誰でも年金をもらえる、という国民皆年金体制をとっています。私的な年金は、この公的年金のたりのないところを補う、ということになります。

この公的年金の中心となるのが厚生年金と国民年金であり、全公的年金加入者の九割ちかくをしめています。

この公的年金が年金をだすのは、

- (1) 年をとったとき
  - (2) 身体障害者になったとき
  - (3) 死亡したとき
- という三つのことからあることは共通しています。

都留技能訓練センターから

「訓練のあんない」

電気工事士受験 専門学科講習

この講習は、電気工事士の資格をとろうとする人のために、専門学科をわかりやすく訓練し、合格をめざすための専門学科訓練講座です。

訓練内容

電気工事士学科 (1)

電気に関する基礎理論・配線理論および電線設計・電機機器・配線器具ならびに電気工事用の材料および工具・電気工事の施工法

電気工事士学科 (2)

一般電気工作物の保安に関する法令・配線図鑑別問題

訓練日程……学科(1) 5月9日から23日まで  
の9日間  
学科(2) 6月6日から17日までの8日間

定員……15名  
時間……午後6時から8時  
50分

受講料……(1)(2)合せて四千円

申込方法……所定の用紙に必要事項を記入し受講料を添えて県

(実技は、8月に開講の予定)

風景入りのスタンプ

をご利用下さい

都留郵便局では、「風景入通信日付印」を作製、三月二十三日のふみの日から使用を始めました。

この日付印は、都留から富士山をのぞみ、特産である絹織物を織っているところを描き、田原の滝と芭蕉の句碑を图案化したものです。

お客さまの申し出により、普通の通信日付印のかわりに「風景入通信日付印」で消印しますので、都留郵便局の窓口でご利用下さい。

